

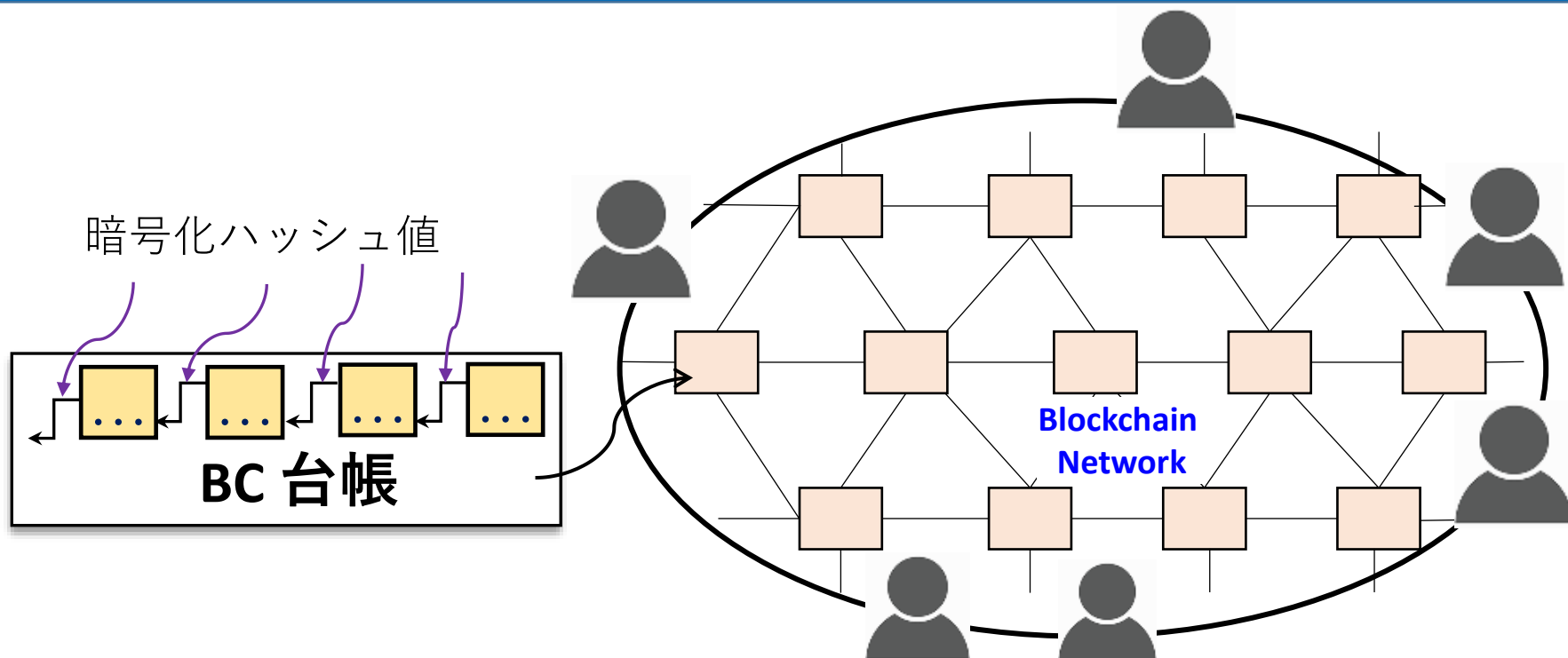
# 高効率な産業のためのブロックチェーン ハードウェア・ソフトウェアシステム

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域  
コンピューティング・アーキテクチャ研究室研究科

助教 トラン ティ ホン

2021年10月15日

# ブロックチェーン (BC) とは？



- 分散型 (Decentralized)
- 不変性 (Immutable)
- 透明性 (Transparent)



BCはSDGs、New Normal、Society 5.0の  
開発に重要な技術である

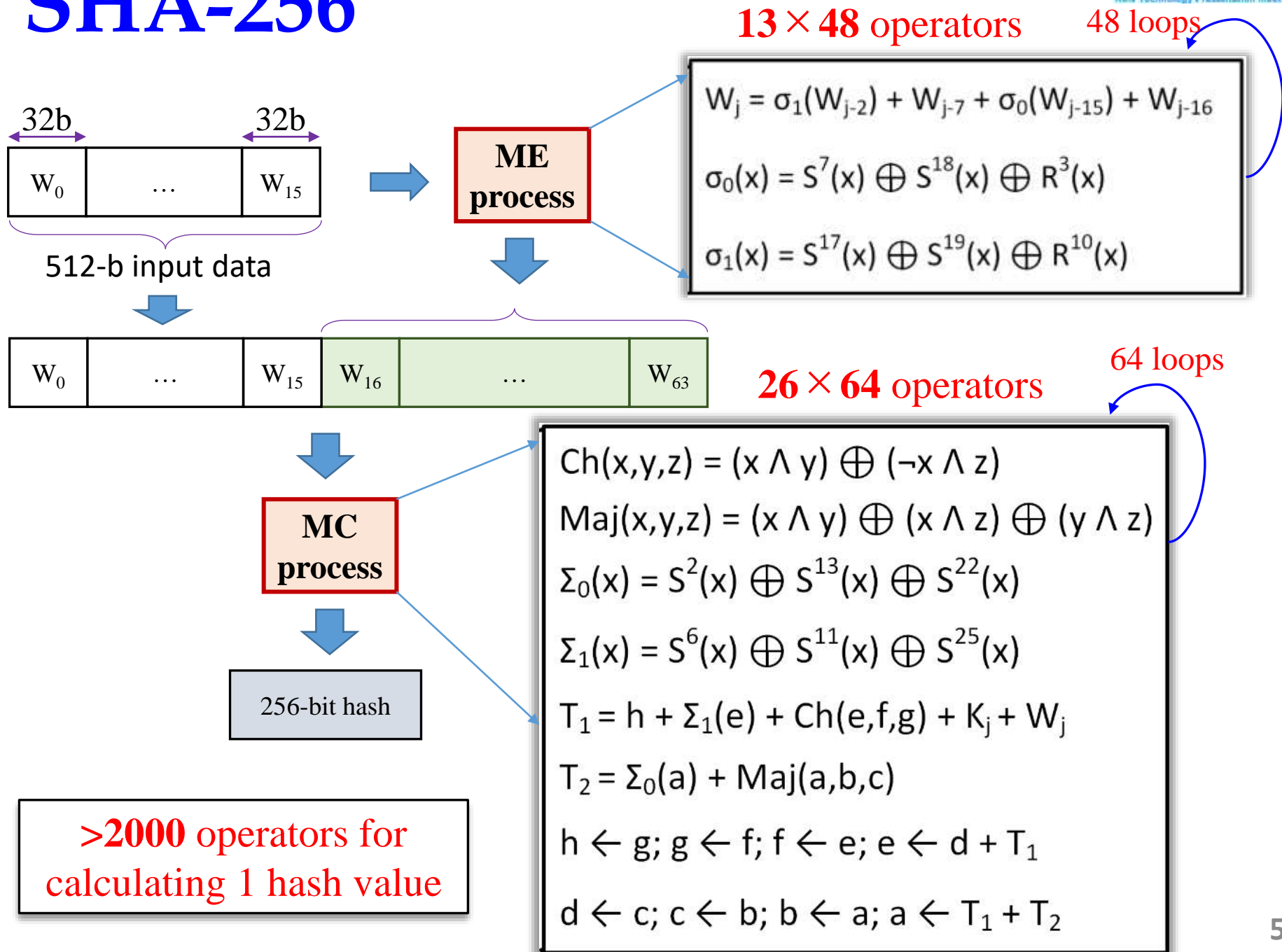
- ブロックチェーンハードウェアアクセラレータ (**BCA**)
  - ✓ 汎用
  - ✓ ブロックチェーンネットワークマイニング用
  
- ブロックチェーンソフトウェア
  - ✓ Vac-chain: COVID-19ワクチンの管理・トレーサビリティシステムの開発

# BCAとは？

BCAは、ブロックチェーンネットワークを保護するため暗号化ハッシュ値(SHA-2, SHA-3など)を求めるハードウェア回路。BCAは、以下のアプリケーションに適用する：

- 分散型ブロックチェーンネットワークの保護
- IoTネットワークに対するデータ整合性とプライバシーの保護
- デジタル署名
- ハッシュベースのメッセージ認証コード（HMAC）
- など。。。

# SHA-256



# SHA-256

13 × 48 operators

48 loops

32b

32b

$$W_j = \sigma_1(W_{j-2}) + W_{j-7} + \sigma_0(W_{j-15}) + W_{j-16}$$

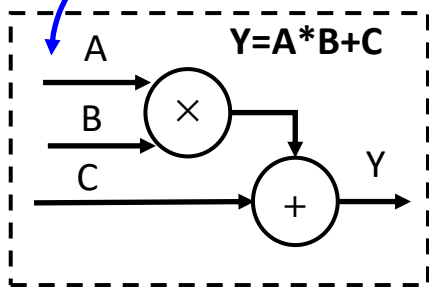
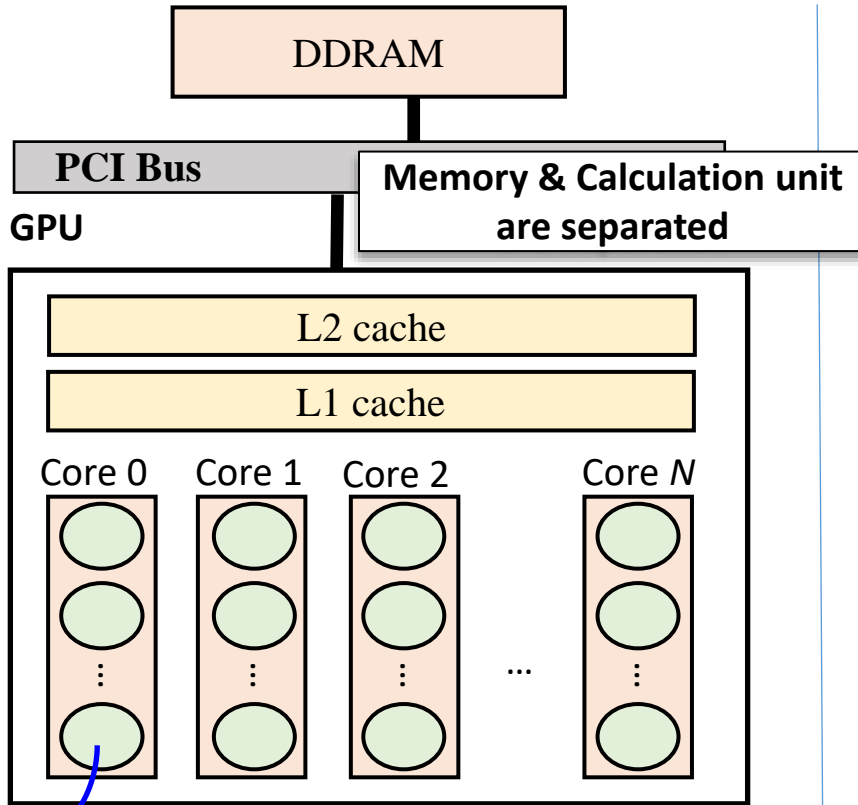
## ハッシュ計算の特徴

- 多数ループ必要
- ループレベルで計算に必要なデータの従属性有り
- ループ内の計算に対して、多数の演算子が必要

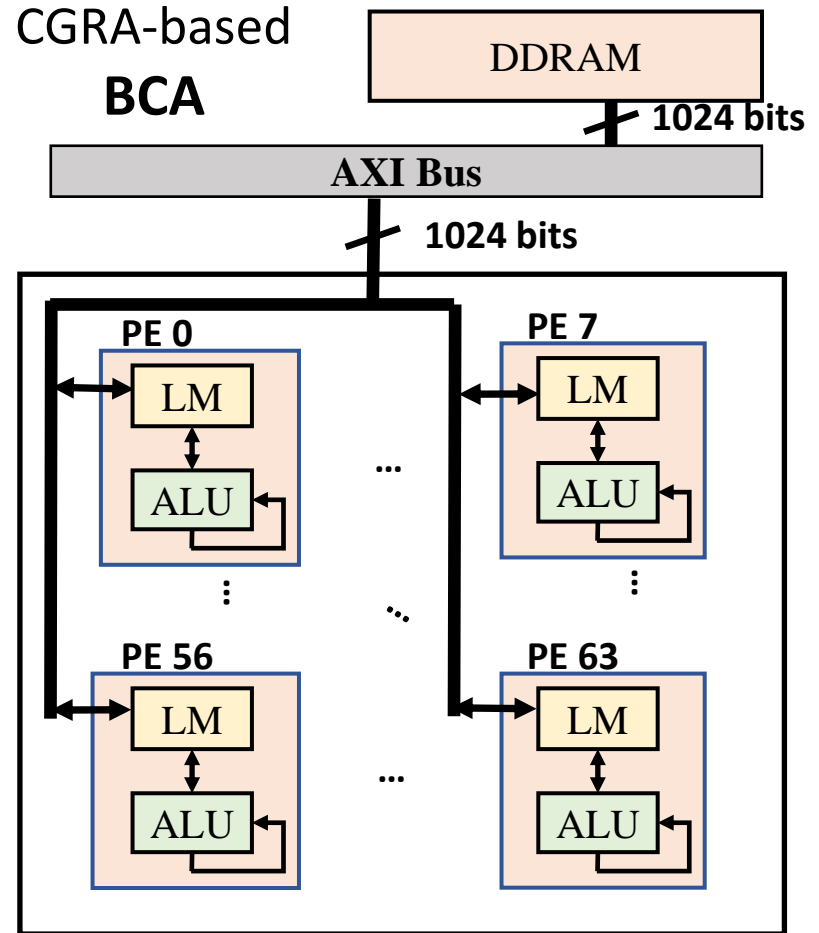


- ◆ CPU / GPUが高パフォーマンスを達成できない
- ◆ 既存のASICアクセラレータは、アクセラレータとのデータ送受信のことを無視するstandalone回路として設計されている

# 従来技術とその問題点

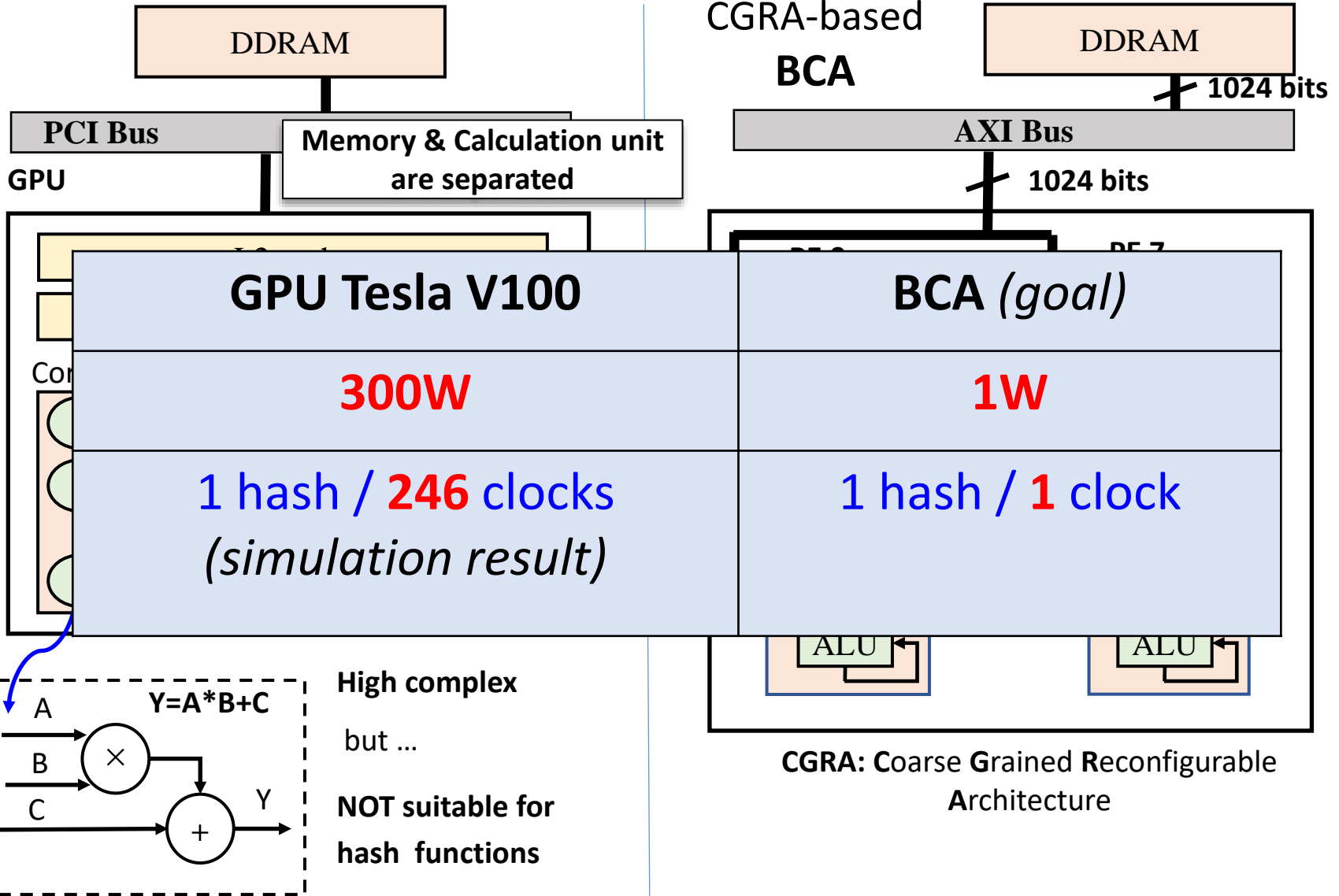


High complex  
but ...  
NOT suitable for  
hash functions



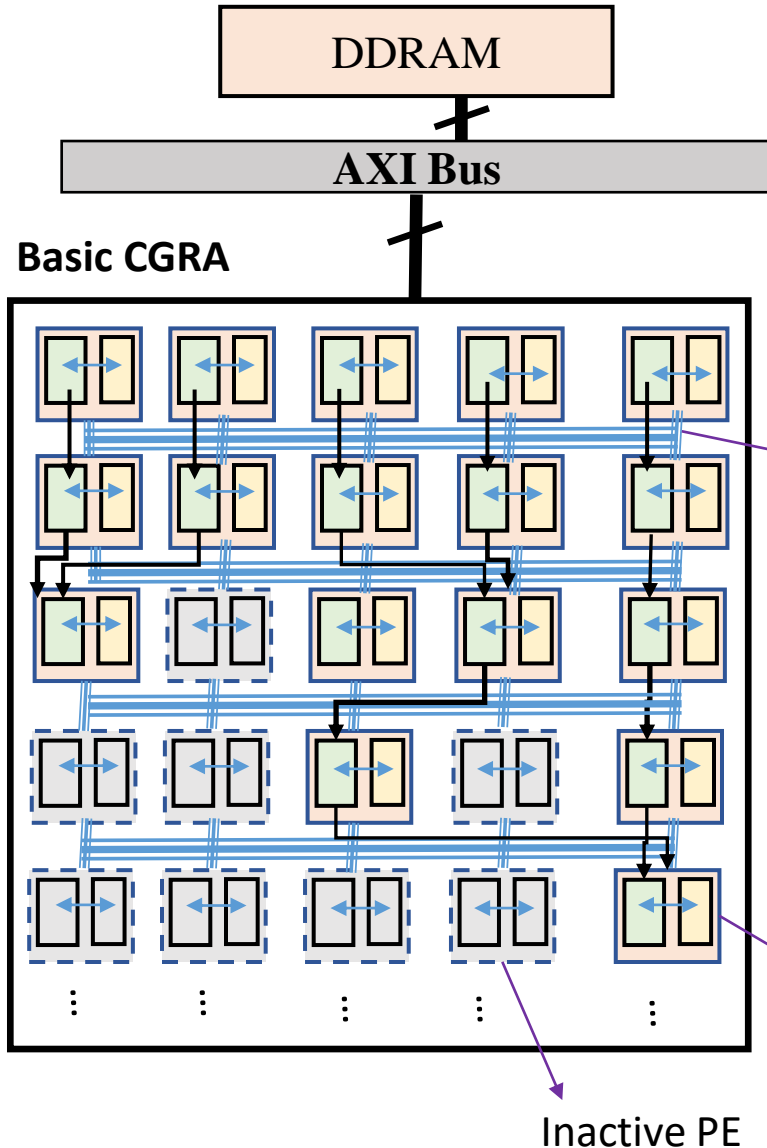
CGRA: Coarse Grained Reconfigurable  
Architecture

# 従来技術とその問題点





# 従来技術とその問題点



**Problem 1:** Multiple PEs / hash loop



Low speed, low efficiency

**Problem 2:** Mesh network among PEs



Large area &  
High power consumption

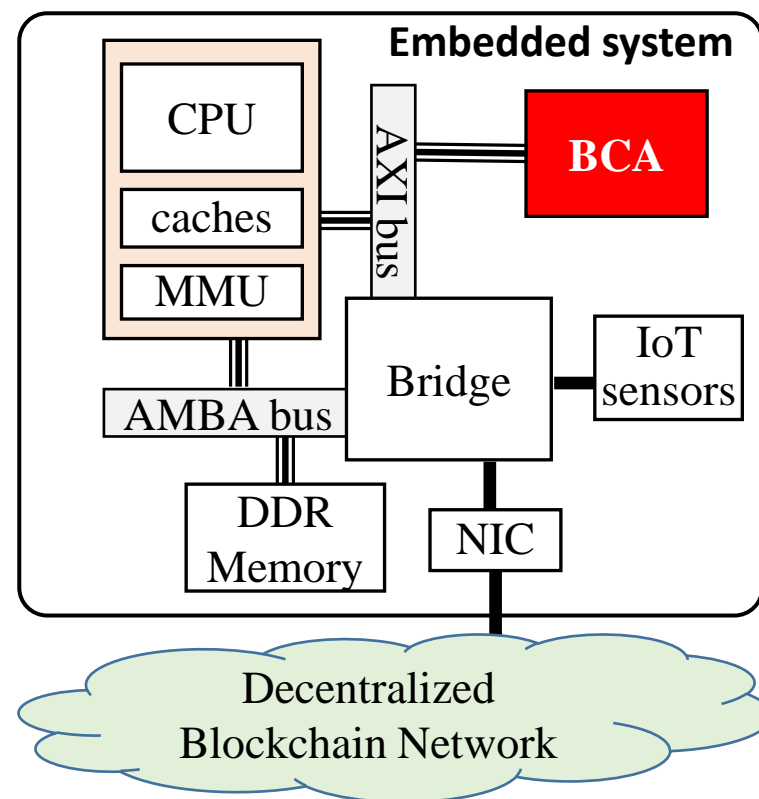
# BCA：目標と特徴

## 目標：

- 高処理速度
- 低消費電力
- データ送受信の問題の解決

## 特徴：

- Pipelined ALU
- Multiple Local Memory
- Double Processing Elements
- Cascaded BCAs



# 内容説明

## BCA Arch 1:

### 汎用用 SHA-256の計算機

#### アプリケーション：

- IoTネットワークに対するデータ整合性とプライバシーの保護
- デジタル署名
- ハッシュベースのメッセージ認証コード（HMAC）

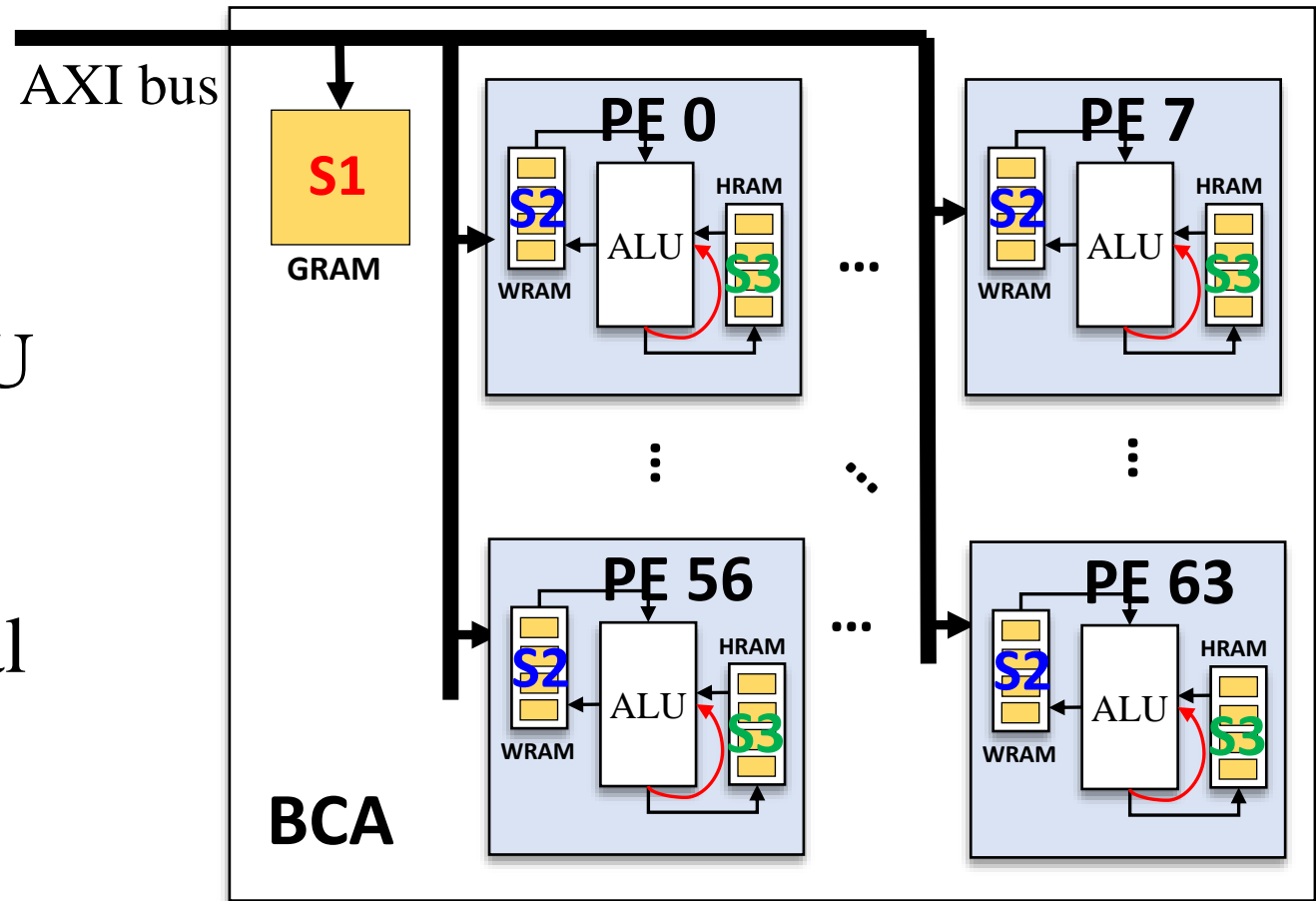
#### 特徴：

- BCAは、相互に**関連なし**ハッシュ関数を計算します
- 低処理速度で結構ですが、超低消費電力が必要です。

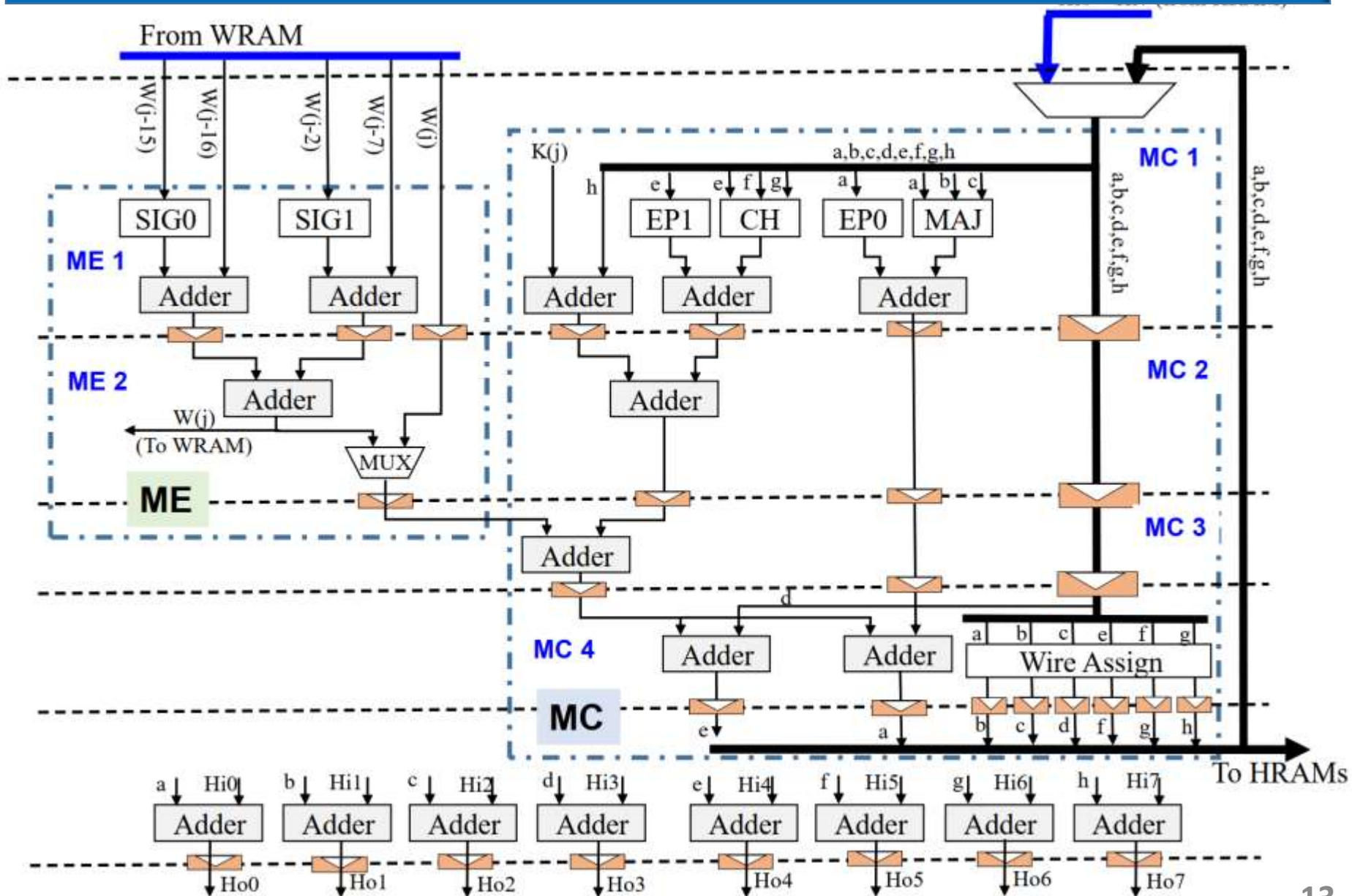
# BCA Arch-1の概要アーキテクチャ

◆ Point 1:  
Pipelined ALU

◆ Point 2:  
Multiple Local  
Memory  
(Multimem)



# Point 1: Pipelined ALU

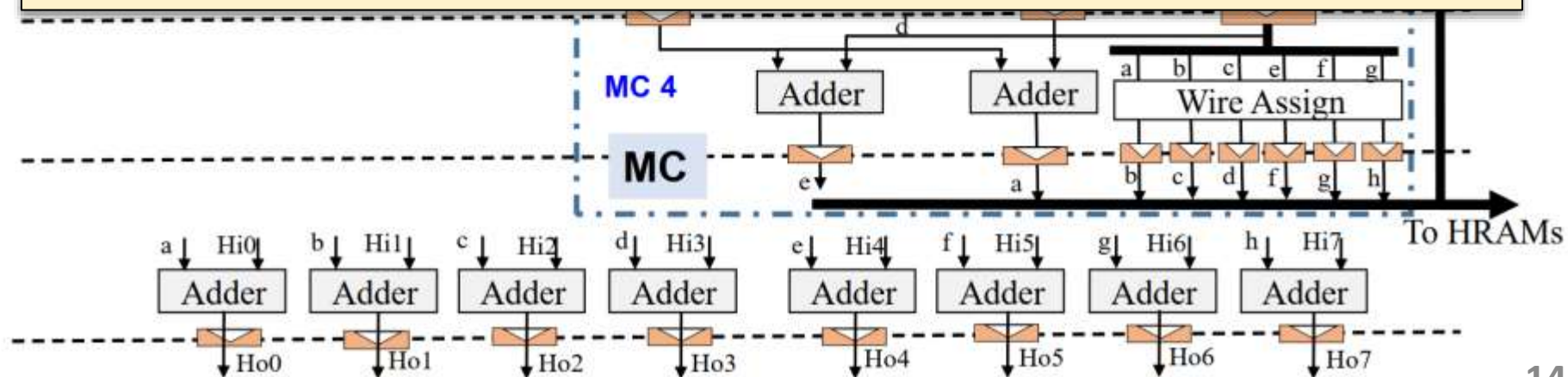


# Point 1: Pipelined ALU

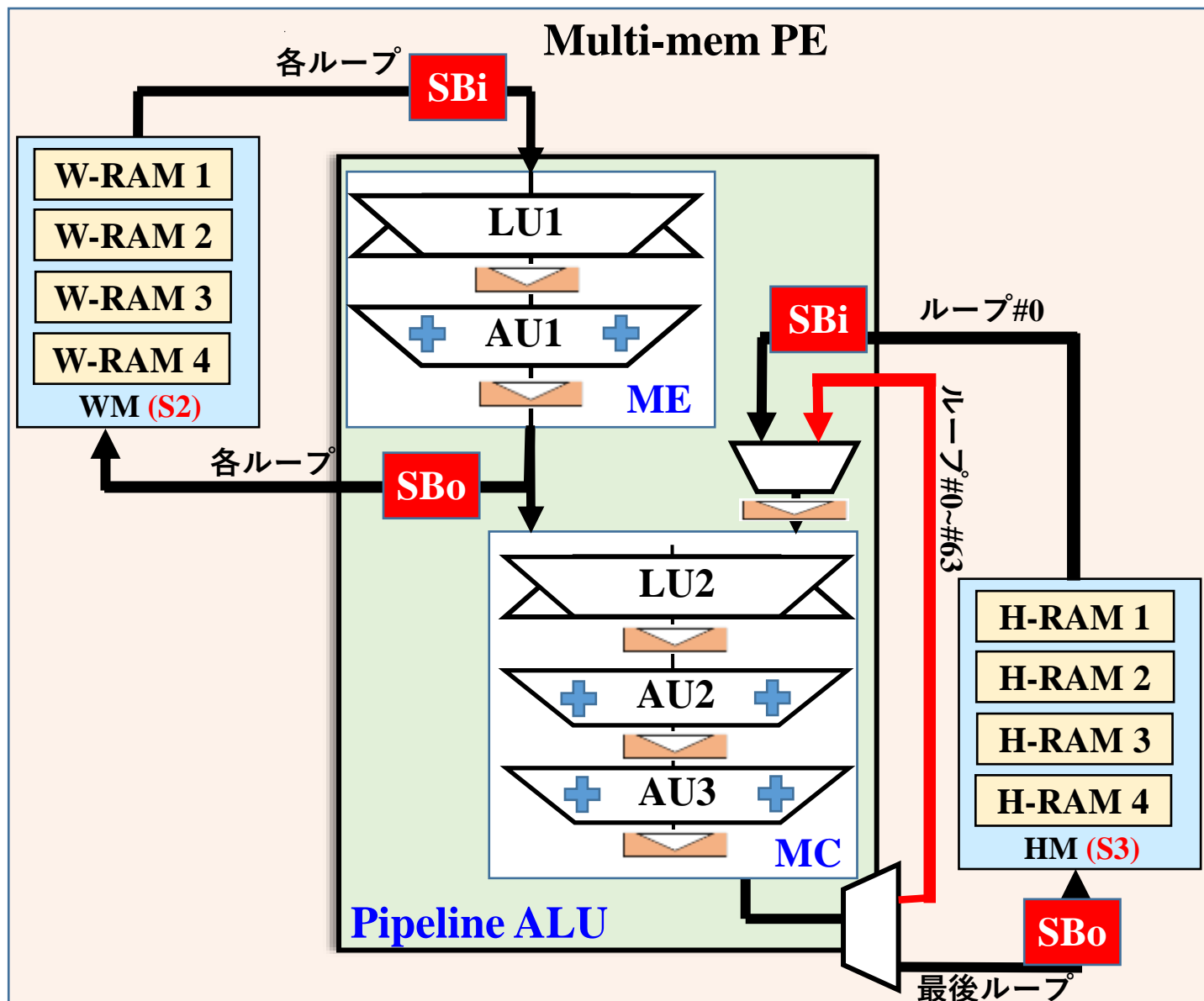
From WRAM

達成できること：

- ハッシュ関数の1つのループを1つのPE内でも計算できる
- 処理速度は1ループ/クロックを達成できる
- 回路の最大周波数が高まる。



# Point 2: Multimem



## 達成できること：

- ◆ ALUには、クロックごとに15ワードのデータが必要であり、ローカルメモリがALUに十分なデータを効率的に提供する方法が必要。



提案されたMultimem (W-RAM、H-RAM) は、次のことを実現できる：

- 外部データアクセスを回避するのにALUに十分なデータを提供する
- ALUが100%の効率を達成できるようにする



# 内容説明

## BCA Arch 2:

# ブロックチェーンネットワークマイニング用 Double SHA-256の計算機

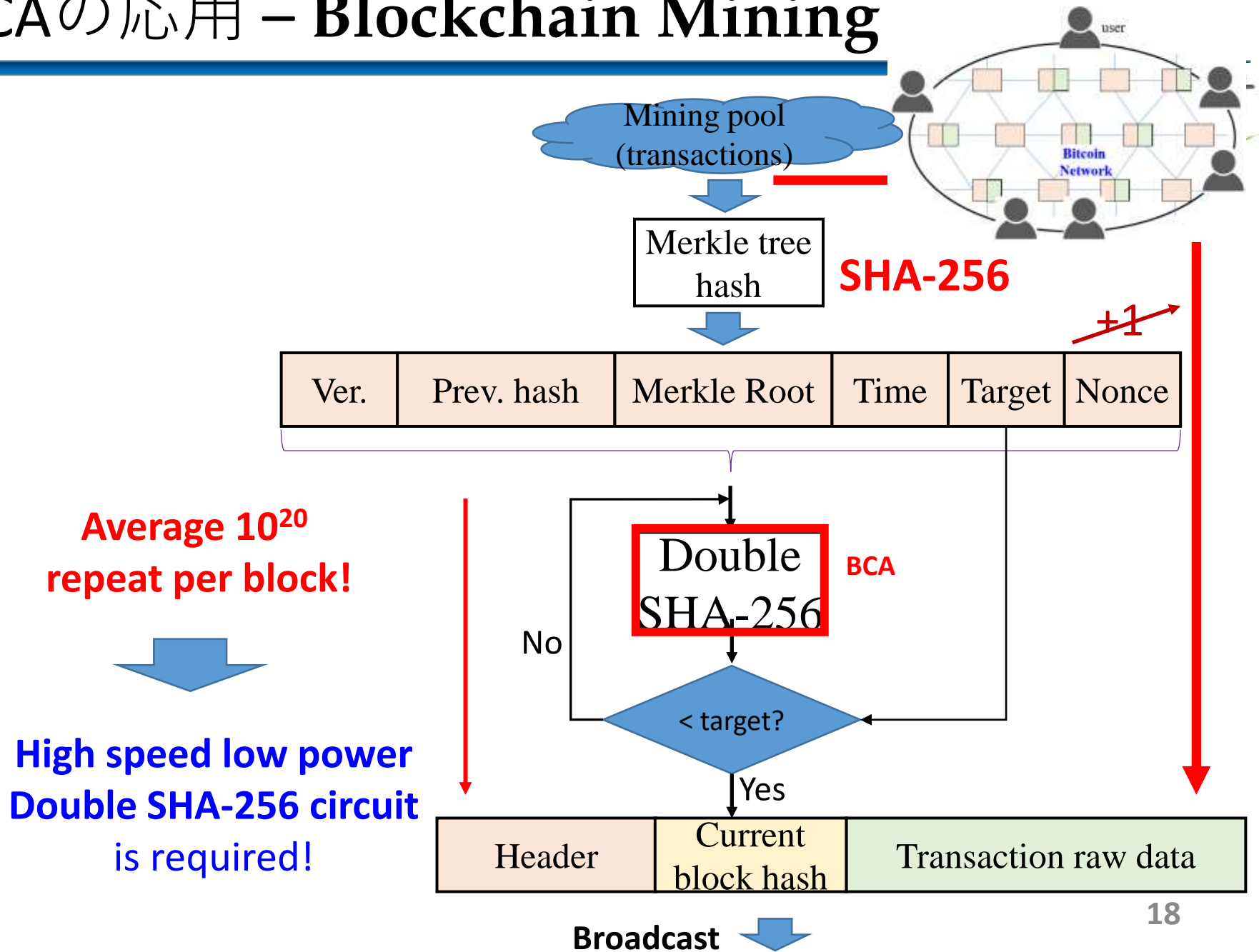
### アプリケーション：

- Blockchain network mining

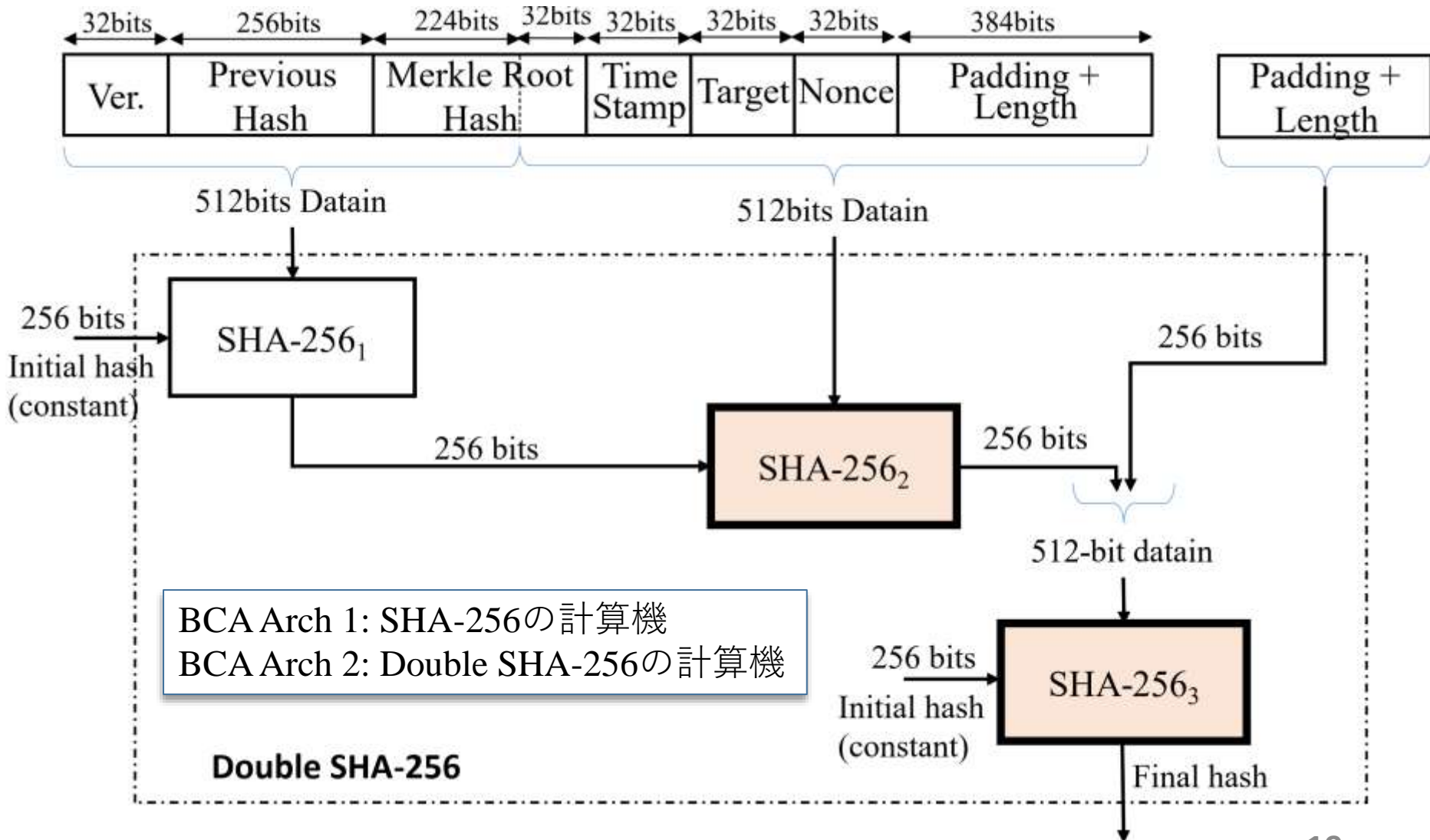
### 特徴：

- BCAは、Nonce値を変更することにより、ハッシュ関数を複数回計算する
- 高処理速度

# BCAの応用 – Blockchain Mining

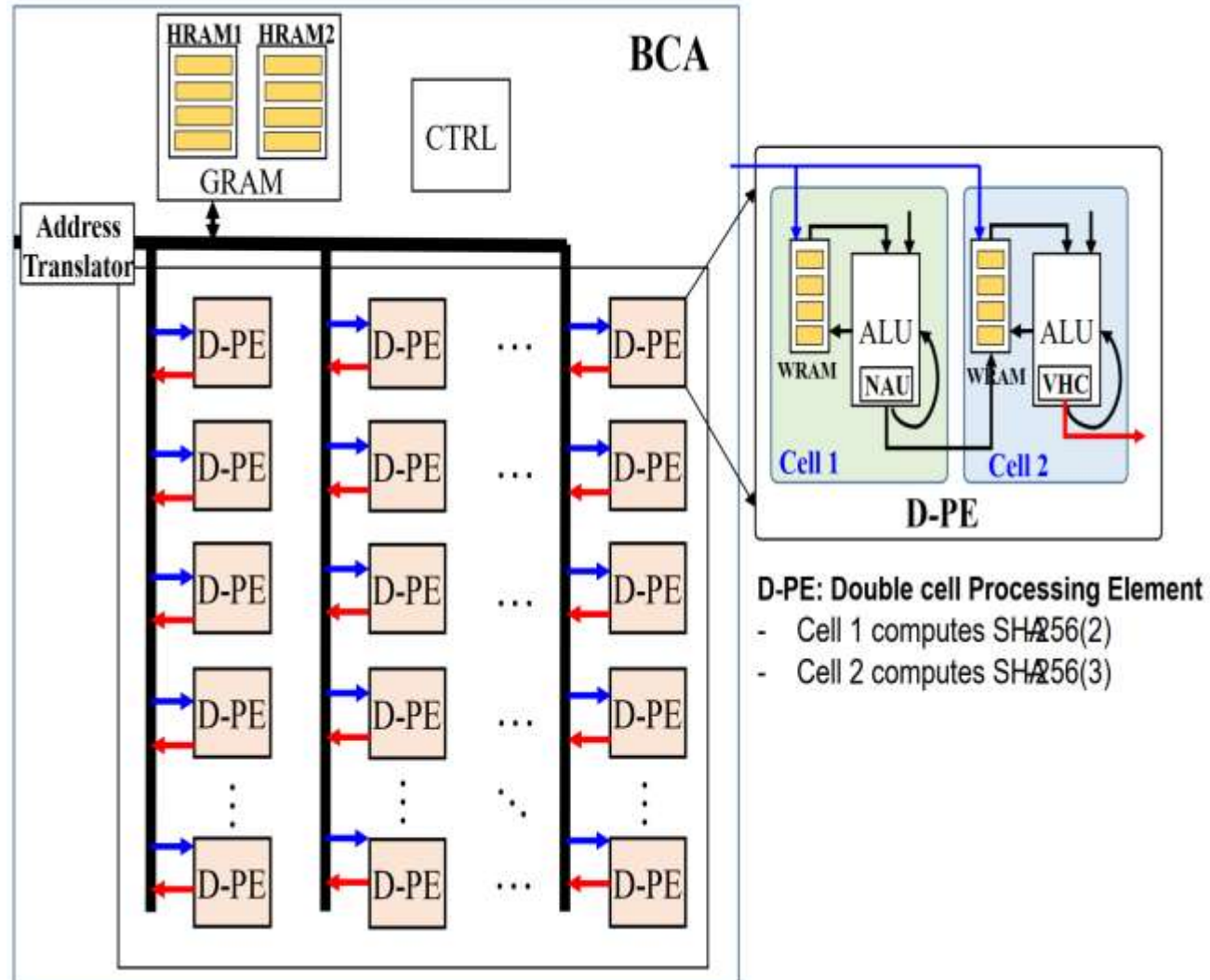


# BCAの応用 – Blockchain Mining

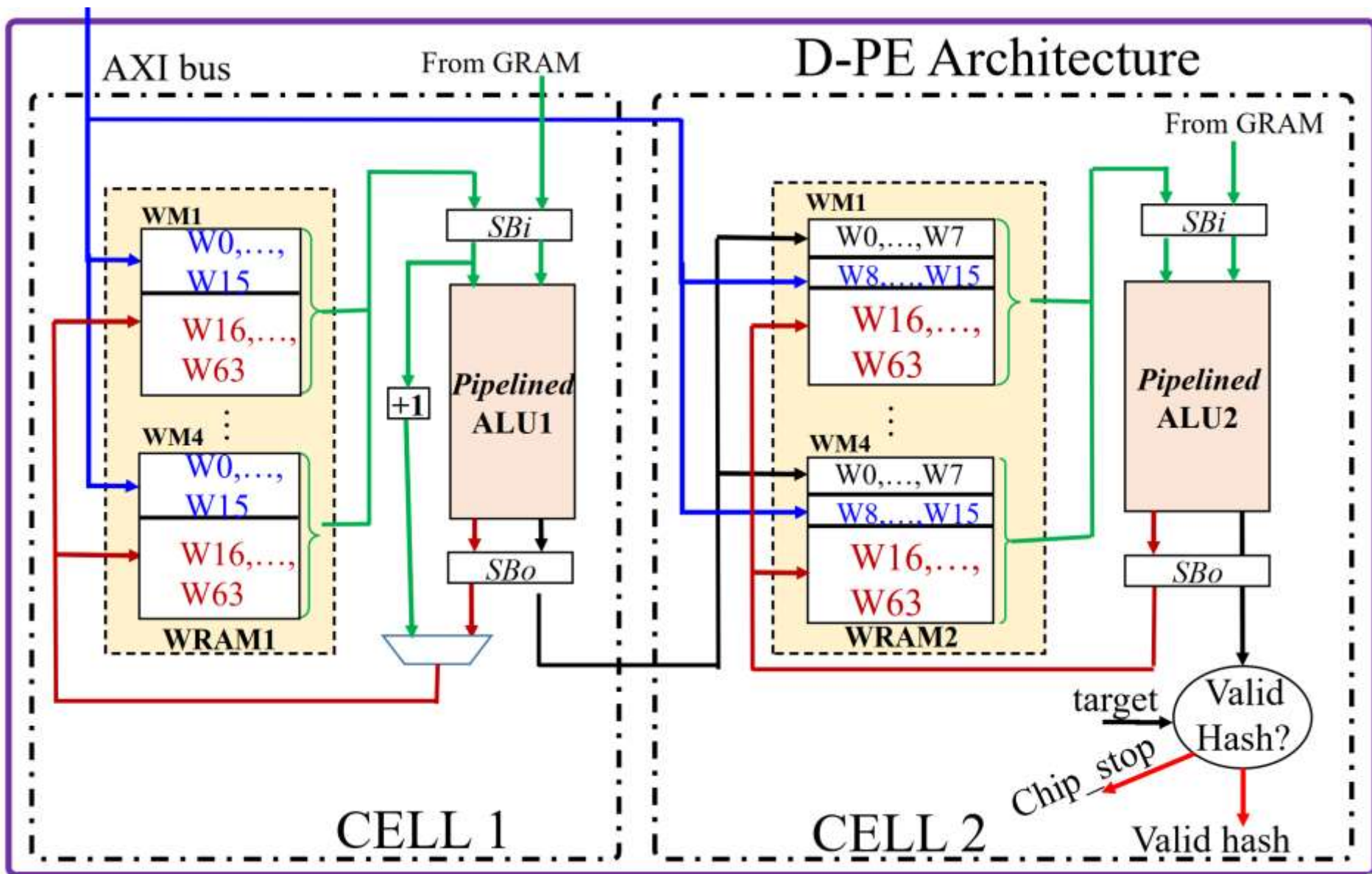


◆ Point 3:  
Double-PE  
Architecture

◆ Point 4:  
Cascaded BCAs



# Point 3: Double PE Architecture



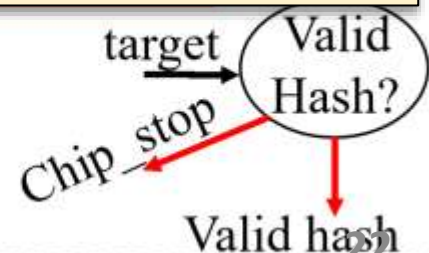
# Point 3: Double PE Architecture

## 達成できること：

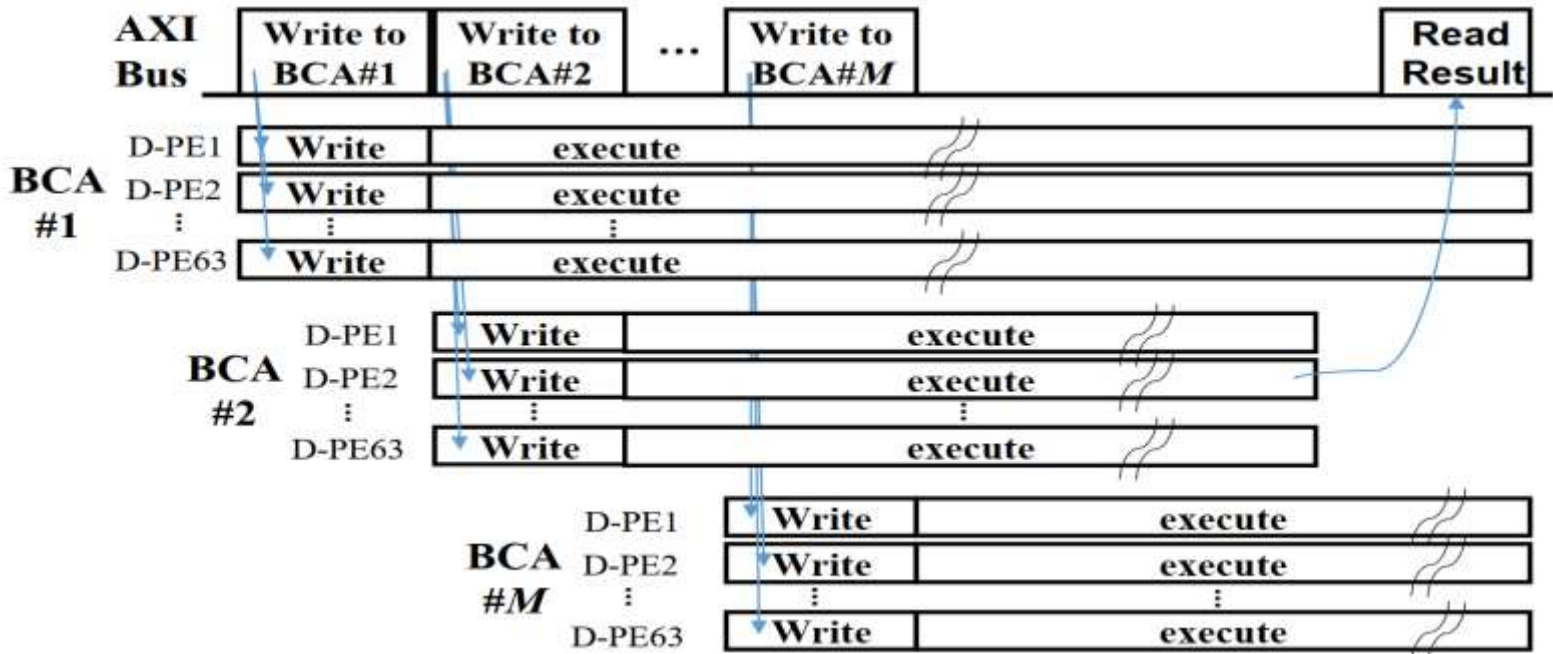
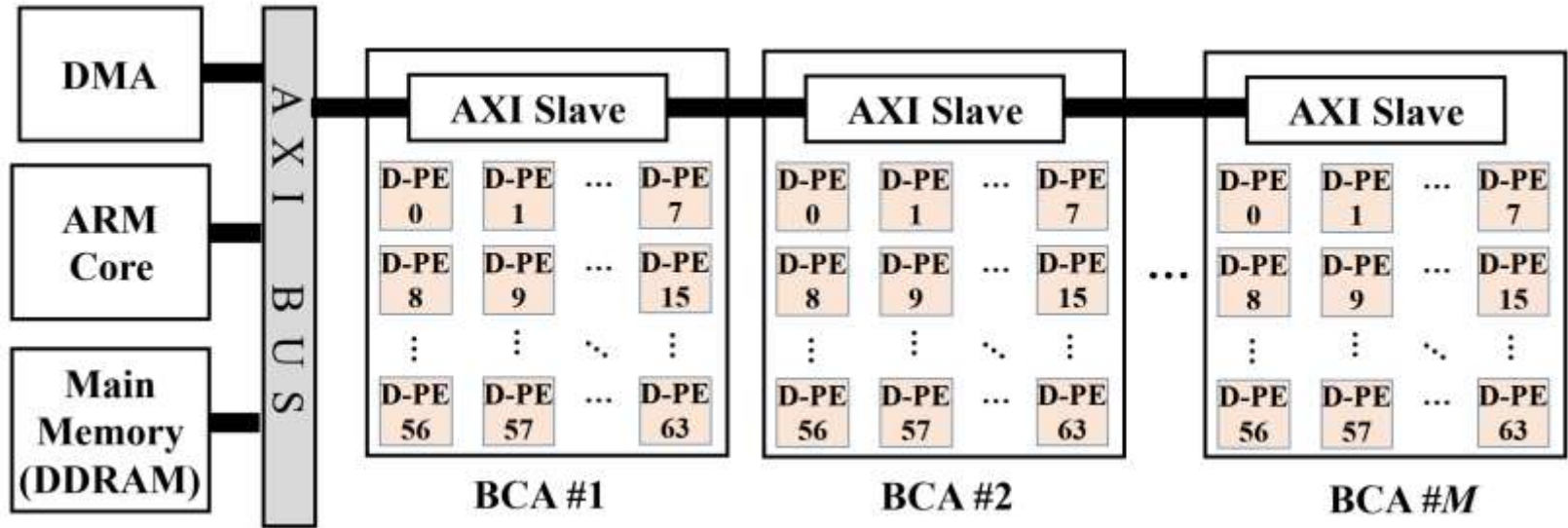
- ◆ Double SHA-256関数は、1つのD-PE内でも計算できる
- ◆ D-PEは、クロックごとにハッシュ値を計算できる
- ◆ D-PEは、入力データをロードするため計算を停止することなく、有効なハッシュ値を見つけるまで無限に機能する
- ◆ W-RAMとH-RAMのサイズが大幅に削減される

CELL 1

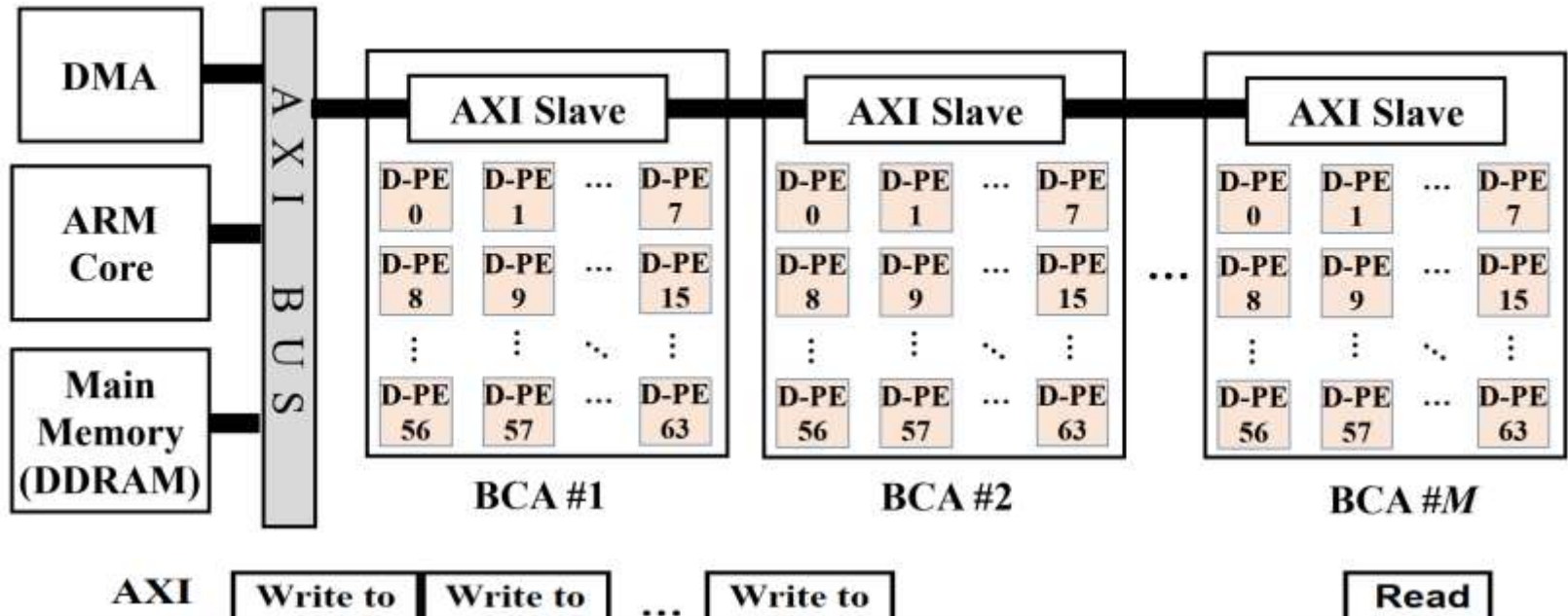
CELL 2



# Point 4: Cascaded BCA chips

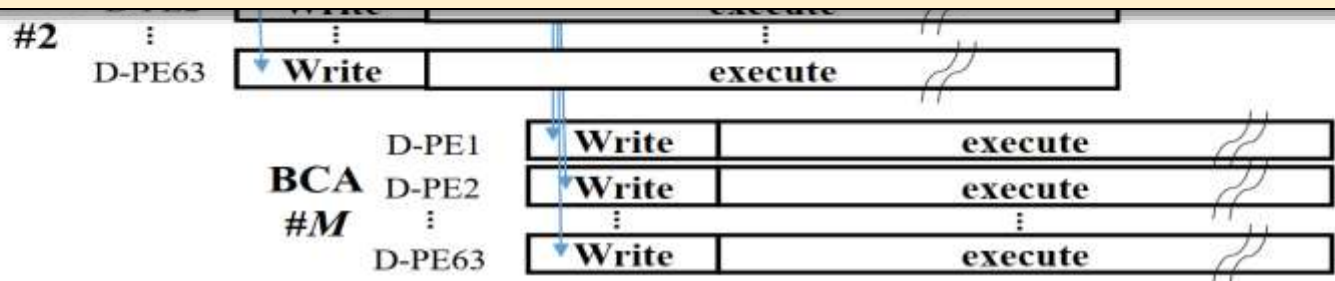


# Point 4: Cascaded BCA chips



達成できること：

- ◆ 実際のシステムに合わせて、処理速度と消費電力を簡単にトレードオフできる





# 実験の結果

Platform		Tech.	Power (W)	Exec. Time (second)	Throughput (Mhps)	Power Eff. (Mhps/W)	Area Eff. (Mhps/mm <sup>2</sup> )
			Measured				
CPU Intel i9-10940X		ASIC 14 nm	164	394.77	11	0.67	-
GPU GTX 1080 Ti, 11 GB		ASIC 16 nm	188	23.26	185	0.98	0.393
GPU RTX 3070, 8 GB		ASIC 8 nm	197	20.78	207	1.05	0.528
GPU RTX 3090, 24 GB		ASIC 8 nm	346	10.45	411	1.19	0.654
GPU Tesla V100, 16 GB		ASIC 12 nm	163	13.04	329	2.02	0.404
Prop. BCA	FPGA ALVEO U280	FPGA 16 nm	<b>8.38</b>	11.95	360	<b>43</b>	-
	Layout Chip	ASIC 65 nm	<b>0.53</b>	-	90	<b>170</b> 1,381**	<b>3.6</b> 238*

\* : Normalized area efficiency = Area Eff. × (65 nm/8 nm)<sup>2</sup>

\*\* : Normalized power efficiency = Power Eff. × (65 nm/8 nm)

CPU: **64 times**

GPU RTX 3090: **36 times**

- ブロックチェーンハードウェアアクセラレータ(**BCA**)
  - ✓ 汎用
  - ✓ ブロックチェーンネットワークマイニング用

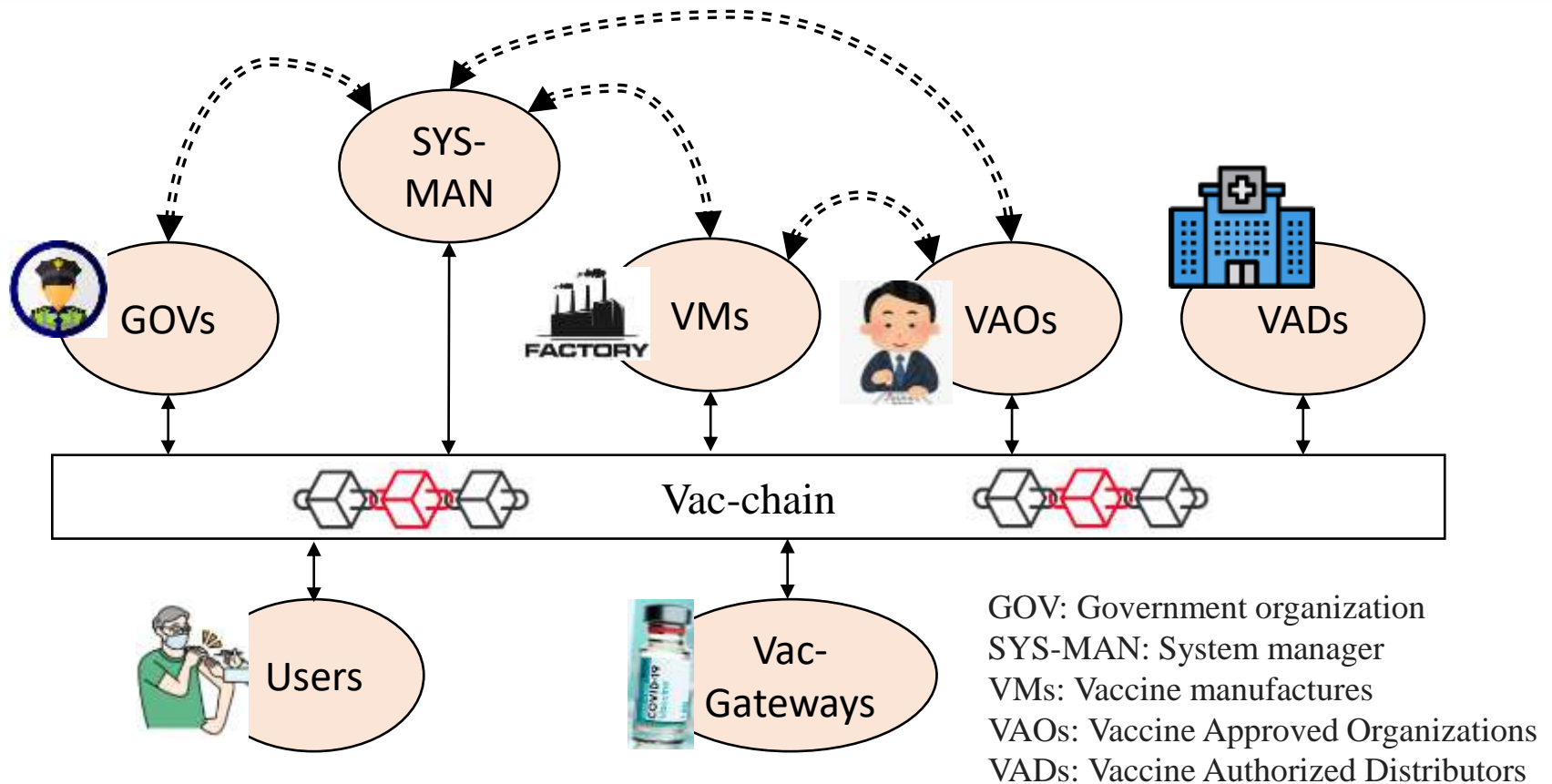
## □ ブロックチェーンソフトウェア

- ✓ Vac-chain: COVID-19ワクチンの管理・トレーサビリティシステムの開発

# Vac-chainシステムの概要

## Vac-chainの解決できる問題：

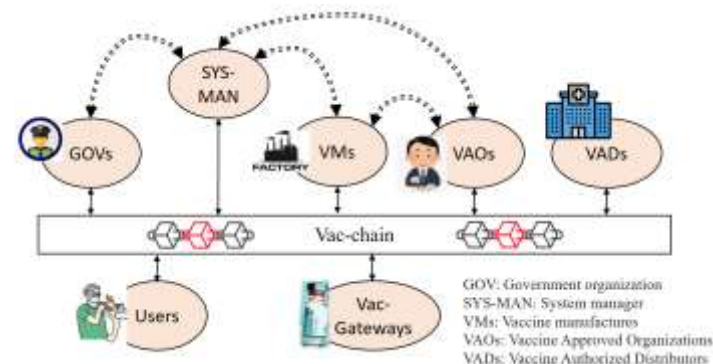
- 偽ワクチンの流通
- ワクチンの重篤な副作用の原因を調査するための情報不足
- ワクチンパスポート



## 偽ワクチン・品物に対策とは？

### 従来方法：

- 高価で特別なQRコードラベルを作成する必要がある
- 低い経済効率
- 偽物を完全に回避できない



### 提案方法：

偽のワクチンは、3つのセキュリティ手順を介してチェーンから排除される。

- **SYS-MAN**の警備員
- QRコードの大量の違法コピーを回避するための**CGCP方法**
- QRコードの単一の違法コピーを回避するための**GPP方法**

CGCP: Genuine Code Generator & Protector

GPP: Genuine Product Protector

- ブロックチェーンハードウェアアクセラレータ (BCA)
  - ✓ 汎用
  - ✓ ブロックチェーンネットワークマイニング用
  - **FPGAに乗せたBCAの電力効率はGPUの電力効率より36倍優れている**
- ブロックチェーンソフトウェア
  - ✓ Vac-chain: COVID-19ワクチンの管理・トレーサビリティシステムの開発
  - **経済的で高効率な偽物排除対策**

## □現在、完成したこと:

- ✓ Arch-1 と Arch-2の回路設計とFPGAボードでのパフォーマンス評価。
- ✓ Xilinx Alveo U280とZCU102などFPGAボードで載せたArch-2はOffline Bitcoin miningの実装を完了。

## □しかし、以下の点が未解決です:

- ✓ BCAのArch-2を使用してLive Bitcoin Miningの実装。
- ✓ Arch-1は、FPGAボードのバスシステムの制限により、データ転送にボトルネックが残っている。

## □今後の実施予定：

- ✓小型化（USBタイプにチップ化する）BCAを既存FPGAボード・PCに接続して、高速マイニングを実現する。
- ✓小型化（カードタイプにチップ化する）BCAをraspberry piボードに接続して、IoTシステムのデータ整合性とプライバシーを保護する。

- ライセンス
- 共同研究



- ✓ 提案したBCAアーキテクチャを各アプリケーションに適用できるように
- ✓ Vac-chainまたは製品の偽造防止管理システムの開発と社会に適用できるように



- 発明の名称 : 処理要素、その制御方法および制御プログラム、並びに処理装置
- 出願番号 : 特願2021- 9164
- 出願人 : 奈良先端科学技術大学院大学
- 発明者 : トラン テイ ホン、中島 康彦

奈良先端科学技術大学院大学  
産官学連携推進部門

T E L 0 7 4 3 - 7 2 - 5 1 9 0

F A X 0 7 4 3 - 7 2 - 5 1 9 4

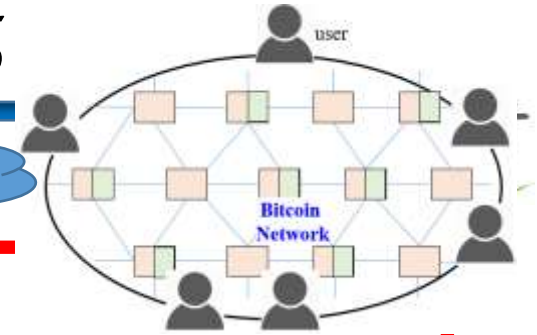
e-mail [ip-3f@ip.naist.jp](mailto:ip-3f@ip.naist.jp)

# APPENDIX

# BCAの応用 – Blockchain Mining

BCAはSHA-256など暗号化ハッシュ値を求めるハードウェア回路である

Mining pool (transactions)



Merkle tree hash

SHA-256

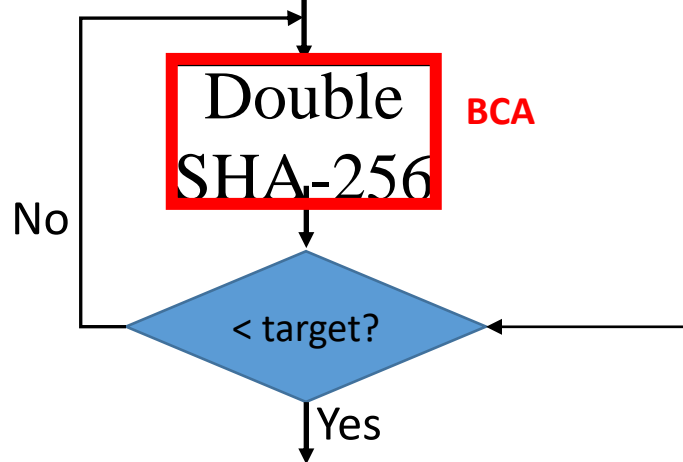
Ver.	Prev. hash	Merkle Root	Time	Target	Nonce
------	------------	-------------	------	--------	-------

+1

Average  $10^{20}$  repeat per block!



High speed low power SHA-256 circuit is required!

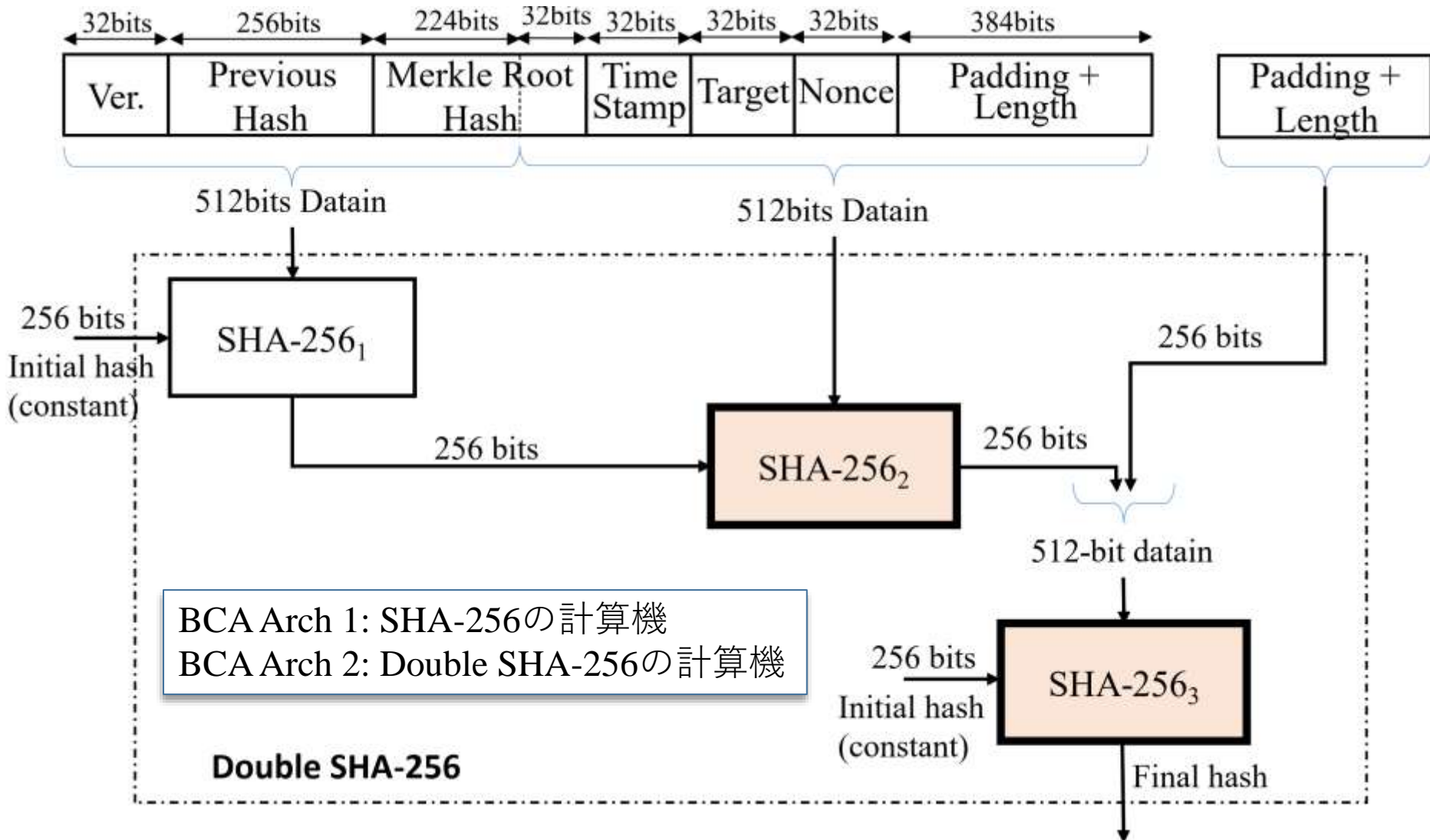


Header	Current block hash	Transaction raw data
--------	--------------------	----------------------

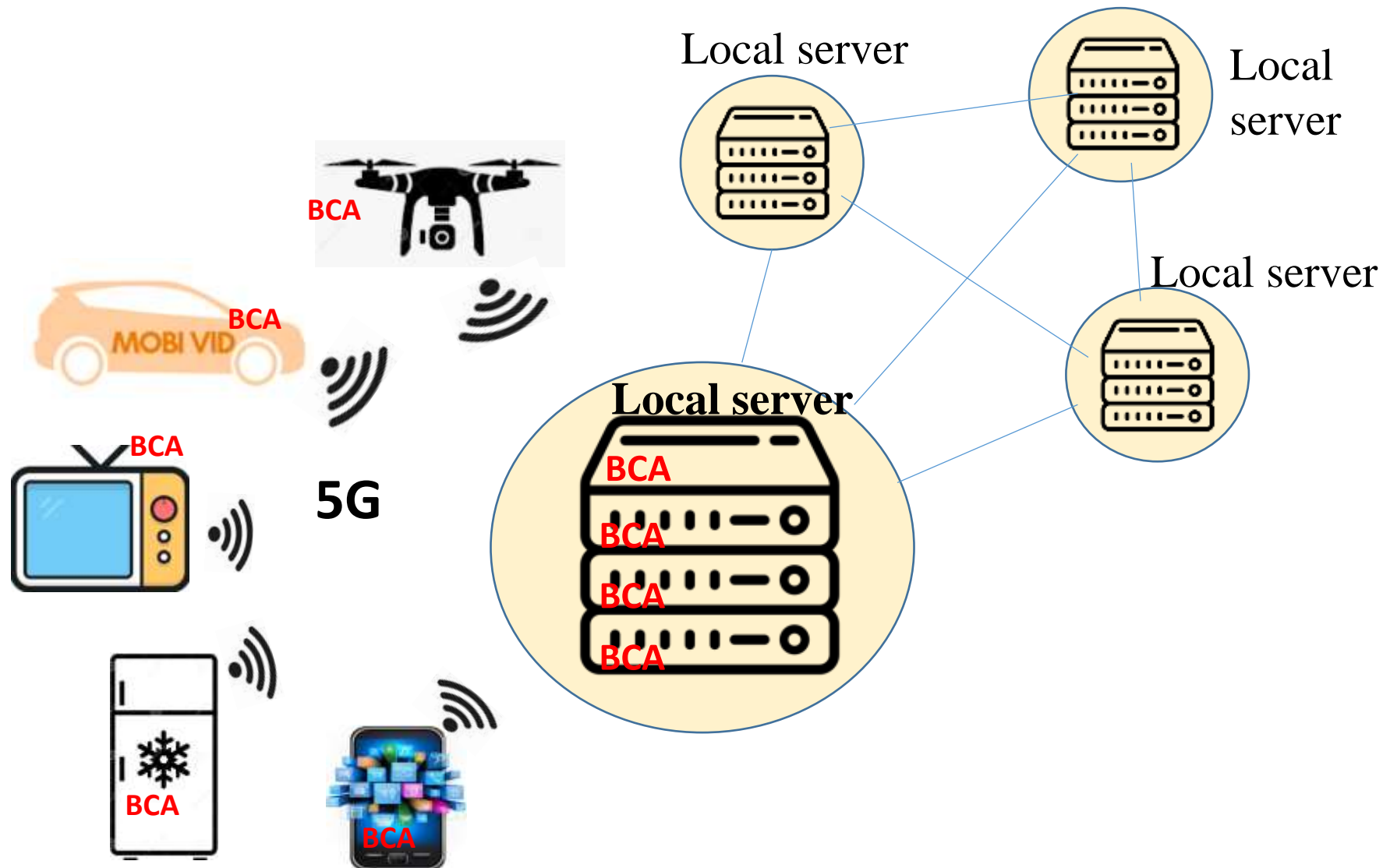
Broadcast



# BCAの応用 – Blockchain Mining



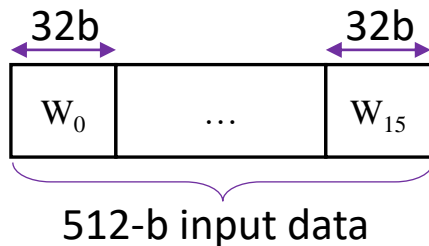
# なぜ超低消費電力・高速BCAは必要？



# 従来技術とその問題点

13 × 48 operators

48 loops



ME  
processes

$$W_j = \sigma_1(W_{j-2}) + W_{j-7} + \sigma_0(W_{j-15}) + W_{j-16}$$

$$\sigma_0(x) = S^7(x) \oplus S^{18}(x) \oplus R^3(x)$$

$$\sigma_1(x) = S^{17}(x) \oplus S^{19}(x) \oplus R^{10}(x)$$

## ハッシュ計算の特徴

- 多数ループ必要
- ループレベルで計算に必要なデータの従属性有り
- ループ内の計算に対して、多数演算子要り (>2000)
- ループ内のデータの従属性有り

$$T_2 = \Sigma_0(a) + \text{Maj}(a,b,c)$$

$$h \leftarrow g; g \leftarrow f; f \leftarrow e; e \leftarrow d + T_1$$

$$d \leftarrow c; c \leftarrow b; b \leftarrow a; a \leftarrow T_1 + T_2$$